

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 淡路VOR/DME局舎改修工事

開札年月日 令和7年6月9日 （落札決定日 令和7年7月10日 ）

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥19,377,600 -

落札者 株式会社建真

予定価格 ￥35,035,000 -

積算額 ￥35,035,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥31,850,000 -

調査基準価格 ￥32,025,876 - 調査基準価格の100/110 ￥29,114,433 -

基準評価値 313.971

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点146点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社建真	114.0	17,616,000	647.138	○				落札
株式会社カンボー	104.0	23,832,000	436.388	○				
有限会社センシュウ	-	40,790,000	-	-				
株式会社昇建	-	無効	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。  
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。  
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。  
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。  
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和7年7月10日に落札者を決定した。



## 低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：淡路VOR/DME局舎改修工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：株式会社建真

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>直接工事費については、施工実績及び取引実績のある協力業者と工事の内容に関する協議、打ち合わせを行った上で見積徴取をし、入札価格を決定している。</p> <p>また、共通仮設費については工事規模、工期、施工環境等を考慮し、最低限必要な費用を積み上げた金額、現場管理費については、工事現場までの交通費や協力業者の諸経費等を考慮した施工実績に基づく率による算出から計上している。</p> <p>一般管理費に関しては、率による算出から、企業運営に必要な費用を可能な範囲で軽減し、算出された金額を計上している。</p> <p>これらの理由により当該価格にて入札したとのことである。</p>
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	<p>配置を予定している技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事はないことから、技術者の配置に問題はないものと思料される。</p>
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	<p>配置を予定している技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事はないことから、技術者の配置に問題はないものと思料される。</p>

<p>(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件</p>	<p>調査対象者の事務所および倉庫は工事現場から134km（所要時間：約128分）の距離に位置しているが、淡路島内の協力業者に緊急時の対応について支援依頼を予定していることや、工事現場近隣に宿泊所を確保する計画であること等から、緊急時の現場管理等の対応が適切に取られることをヒアリングにより確認した。</p>
<p>(5) 手持資材の状況</p>	<p>当該工事で使用する足場材等の仮設資材については、自社で保有しているものを使用することを確認した。その他の資材については、協力業者及びリースにて調達予定であることをヒアリングにより確認した。</p>
<p>(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係</p>	<p>資材購入については、長年取引のある下請業者にて調達する予定であることをヒアリングにより確認した。</p>
<p>(7) 手持機械数の状況</p>	<p>手持ち機械を確認したところ、工具に関しては自社で保有していることを確認した。 アスベスト除去工事にて必要となる機材については、協力業者にて手配する予定であることをヒアリングにより確認した。</p>
<p>(8) 労務者の具体的供給見通し</p>	<p>各職種別に自社及び協力業者の労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。</p>
<p>(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者</p>	<p>過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（令和2年4月1日以降に完成・引渡し完了した工事）において、地方公共団体などの公共法人10件の施工実績があり、公共法人の工事成績評定点は平均65.6点であった。 一部、工事書類の不備により65点未満の工事实績はあったが、現場においては遅延等なく完成・引渡しがされていることをヒアリングにより確認した。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事がないことをコリンズにより確認した。</p>

(10) 経営内容	<p>調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。</p>	
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>入札価格は、当局積算価格と比して乖離はあるものの、直接工事費において、仮設工事については自社、防水・左官・塗装工事、建具工事、アスベスト除去工事については、取引実績のある協力業者からの見積価格をもとに計上されている。</p> <p>見積価格は、特別に価格を引き下げたものではなく、施工実績に基づき、協力業者と工事価格、施工環境等も含めて協議、打ち合わせを行った上で見積られた価格であることから、問題はないと思料される。</p> <p>また、共通費においても、共通仮設費については工事規模、工事期間を考慮した最低限必要な費用を積み上げ、現場管理費については、工事現場までの交通費や協力業者の諸経費等を考慮した施工実績に基づく率計算による計上、一般管理費については企業運営に必要な費用を可能な範囲で軽減した計上となっており、当該工事にかかる必要な経費は計上されている。</p> <p>以上のことから、入札した価格で本工事の内容に適合した履行がなされない恐れがあるとは認められなかった。</p>	
(12) (9)の公共工事の成績状況	<p>過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。</p>	
(13) 経営状況	<p>問題なし。</p>	
(14) 信用状況	<p>法令違反の有無</p>	<p>無</p>
	<p>賃金不払いの状況</p>	<p>無</p>
	<p>下請代金の支払遅延状況等</p>	<p>無</p>
(15) その他の必要な事項	<p>無</p>	